

**平成26年度学生の就職・採用活動に関する調査
(大学等関係団体 就職問題懇談会)**

【本調査の趣旨】

学生の就職・採用活動については、学生の学修時間の確保、留学等の促進のため、平成28(2016)年3月卒業・修了予定者から、「日本再興戦略—JAPAN is BACK—」(平成25年6月14日閣議決定)に基づき、3月1日以降広報活動開始、8月1日以降採用選考活動開始に変更(後ろ倒し)されることとなっています。

国公立の大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)で構成する就職問題懇談会(事務局：文部科学省高等教育局学生・留学生課)において、平成28年3月卒業・修了予定者からの就職・採用活動の後ろ倒しの円滑な実現に向け、各大学等の対応状況を把握する必要があるため、本調査を実施します。

【留意事項】

- ① 回答は、担当者の個人的意見を記入するのではなく、学内でキャリア・就職支援に関する業務を所掌している組織の責任者の了承を取った上で、回答票に記入してください。また、回答票のみをメールにて返信願います。
- ② 記入できない欄がある場合には、未記入のままの提出でもかまいません。
- ③ 新設されたばかりで卒業生を出していない学校や医科系の単科大学等で回答が全くできない場合には、担当者名等(調査票冒頭の赤枠内)のみご記入の上、返送願います。
- ④ 大学及び短期大学を併設している学校においては、各学校種毎に、別様でご記入の上、返送願います。
- ⑤ 学部等により、回答が異なる場合には、主なものをご記入の上、回答願います。
- ⑥ 大学院を設置している大学については、特に指示が無い限り「学部生」と「大学院生(修士課程・専門職学位課程)」全体の状況について回答願います。

学 校 名： ()
 担当責任者： (氏名： 、 職名：)
 部 署 名： ()
 ご担当者名： (氏名： 、 職名：)
 ご連絡先： ()

I 学校の属性について

1-1 学校種別

- a. 国立大学 b. 公立大学 c. 私立大学 d. 公立短期大学 e. 私立短期大学
 f. 国立高等専門学校 g. 公立高等専門学校 h. 私立高等専門学校

1-2 大学院設置の有無

- a. 設置している b. 設置していない

2 地域

- a. 北海道・東北 b. 関東(東京以外) c. 東京 d. 中部 e. 近畿 f. 中国・四国 g. 九州

(3) 採用選考活動は概ねいつ頃から開始されましたか

- a. 平成25年10月以前
- b. 平成25年11月
- c. 平成25年12月
- d. 平成26年1月
- e. 平成26年2月
- f. 平成26年3月
- g. 平成26年4月
- h. 平成26年5月
- i. 平成26年6月
- j. 平成26年7月以降

(4) 通年採用について

- a. 拡大している
- b. あまり変化はない
- c. 減少している

(5) 採用内々定時期について

- a. 早まっている
- b. あまり変化はない
- c. 遅くなっている

(6) 採用内々定時期は概ねどの程度早く、若しくは遅くなっていますか

【1-(5)で a 又は c を選択した場合のみ回答願います】

- a. 半月程度
- b. 1か月程度
- c. 2か月程度
- d. それ以上 (か月程度)

(7) 採用内々定の集中している時期について

- a. 平成26年1月以前
- b. 平成26年2月
- c. 平成26年3月
- d. 平成26年4月
- e. 平成26年5月
- f. 平成26年6月
- g. 平成26年7月以降

(8) リクルーターによる採用活動等、特定校を対象とする採用活動について

(文系の場合)

- a. 特定校対象の採用活動は減少している
- b. あまり変化はない
- c. 特定校対象の採用活動は増えている
- d. リクルーターによる採用活動はほとんどない

(理系の場合)

- a. 特定校対象の採用活動は減少している
- b. あまり変化はない

※「a」を選択した場合は配置による効果を、可能な限り定量的に記述してください。その際どのような取組を行ったことによる効果なのかを具体的に記述してください。

[回 答 欄]

2 企業等の協力を得て行うキャリア教育としての学内行事（以下「学内セミナー」という。）の実施状況について

(1) 学内セミナーを行っていますか。

a. 行っている b. 行う予定がある c. 行っていない

(2) 2-(1) c. と回答した場合、その理由を記述してください（例：企業の協力が得られない等）

[回 答 欄]

(3) 年に何回実施しましたか。また、開催時期はいつですか
【2-(1)において a 又は b を選択した場合のみ回答願います】

[回 答 欄]

(4) 学内セミナーの実施例について具体的に記述してください
【2-(1)において a 又は b を選択した場合のみ回答願います】

[回 答 欄]

3 インターンシップ等の推進等について

(1) 今後、就職活動の後ろ倒しに伴い、インターンシップ等の強化・充実等を行う予定はありますか

a. 既に行っている b. 行う予定がある c. 行う予定はない

(2) 3-(1) a. と回答した場合、どのような取組を行ったか記載願います。（例：インターンシップ参加学生向けの●●●●授業（科目）を新設した。）

[回 答 欄]

(3) 3-(1) b. と回答した場合、どのような取組を行う予定か記載願います。（例：インターンシップのミスマッチを減らすため、企業と学生のマッチングを行う仕組みを構築する予定。）

[回 答 欄]

(4) 3-(1) c. と回答した場合、行う予定はない理由を記載願います。

[回 答 欄]

《参考》

○ キャリア教育：

「一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な 基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア（※）発達を促す教育」である。（中央教育審議会答申「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」（平成 23 年 1 月 31 日））

注）「キャリア」とは、「人が生涯の中で様々な役割を果たす過程で、自らの役割の価値や自分と役割との関係を見いだしていく連なりや積み重ね」のことである。

○ 企業等の協力を得て取り組むキャリア教育としての学内行事（学内セミナー）の例：

学生の業界研究等に資するため、OB、OGなどを含む企業関係者の協力を得て、通常講義が行われる時間帯に大学構内で実施するセミナー形式のもの。（但し、採用を目的として事前に採用予定数や選考スケジュールなどの採用情報を広く学生に発信するための説明会等を除く。）

4 労働法制の普及等に関する取組について

(1) 将来社会に出て働くことになる学生に対して労働法制の基礎知識の理解を深めること

は重要であると考えますが、労働法制の基礎知識を付与する取組を行っていますか

- a. 行っている (教育課程内 (対象: 学年) ・教育課程外 (対象: 学年))
- b. 行う予定がある (教育課程内 (対象: 学年) ・教育課程外 (対象: 学年))
- c. 行っていない

(2) 取組を実施する際に、外部機関に講師の派遣を依頼していますか

【4-(1)において a 又は b と回答した場合のみ回答願います】

- a. 依頼している
- b. 依頼する予定がある
- c. 依頼していない

(3) 4-(2)で a と回答した場合、依頼先を回答してください

- a. 都道府県労働局
- b. 弁護士
- c. その他 (具体的に記述願います)

5 未就職のまま卒業・修了した学生に対する就職支援について

(1) 未就職のまま卒業・修了した学生に対する就職支援を行っていますか

- a. 行っている
- b. 行う予定がある
- c. 行っていない

(2) 卒業・修了後何年までは支援の対象となりますか

【5-(1)において a 又は b を選択した場合のみ回答願います】

- a. 卒業・修了後 () 年以内
- b. 制限無し

(3) 未就職のまま卒業・修了した学生に対して

【5-(1)において a 又は b を選択した場合のみ回答願います】

- a. 在学生と同様の支援を行っている (行う予定)
- b. 在学生とは異なるが支援を行っている (行う予定)

※ b を選択した場合、どの部分が異なっているのか具体的な内容を記述ください
[回 答 欄]

(4) どのような就職支援を行っていますか又は行う予定ですか (複数回答可)

【5-(1)において a 又は b を選択した場合のみ回答願います】

- a. 採用情報の提供
- b. 面談による就職相談
- c. メール・電話による就職相談
- d. 論文・エントリーシート・履歴書の添削指導
- e. 模擬面接
- f. 筆記試験対策講座やマナー講座など各種講座への出席案内・許可
- g. ハローワークの紹介
- h. その他 (具体的に記述してください)

6 やむを得ず中途退学した学生に対する就職支援について

(1) やむを得ず中途退学した学生に対する就職支援を行っていますか

- a. 行っている
- b. 行う予定がある
- c. 行っていない

(2) 中途退学後何年までは支援の対象となりますか

【6-(1)において a 又は b を選択した場合のみ回答願います】

- a. 中途退学後 () 年以内
- b. 制限無し

e. その他（具体的な内容を記述してください）

（3）【9-(1)において b を選択した場合のみ回答願います（複数回答可）】

- a. 学生に対する就職相談
- b. 教職員に対するアドバイス
- c. セミナー等の開催
- d. 企業説明会の開催
- e. その他（具体的な内容を記述してください）

（4）【9-(1)において c を選択した場合のみ回答願います（複数回答可）】

- a. 学生に対する就職相談
- b. 教職員に対するアドバイス
- c. セミナー等の開催
- d. 企業説明会の開催
- e. その他（具体的な内容を記述してください）

（5）【9-(1)において d を選択した場合のみ回答願います（複数回答可）】

- a. 学生に対する就職相談
- b. 教職員に対するアドバイス
- c. セミナー等の開催
- d. 企業説明会の開催
- e. その他（具体的な内容を記述してください）

（6）【9-(1)において e を選択した場合のみ回答願います（複数回答可）】

- a. 学生に対する就職相談
- b. 教職員に対するアドバイス
- c. セミナー等の開催
- d. 企業説明会の開催
- e. その他（具体的な内容を記述してください）

10 大学とハローワークとの連携について

（1）現在、政府において大学等とハローワークの連携を促進していますが、現在ジョブサポーターの出張相談を受け入れていない大学等において、今後学内にジョブサポーターの相談窓口を設け、出張相談を受け入れる希望はありますか

- a. 希望あり
- b. 希望なし
- c. 未定

（2）現在、ジョブサポーターの出張相談を受け入れている大学等において、ジョブサポーターの出張相談回数等の強化を行いたい希望はありますか

- a. 希望あり
- b. 希望なし
- c. 未定

（3）大学等とハローワークとの連携を強化（相談窓口の設置による出張相談の強化等）するにあたり、問題点等があればご自由に記述ください

【10-(2)において a を選択した場合のみ回答願います】

[回 答 欄]

- a. 平成26年度卒業・修了予定者 b. 平成27年度卒業・修了予定者
c. 平成28年度卒業・修了予定者 d. 平成29年度卒業・終了予定者

(3) 説明会の規模はどれくらいですか。

【3-(1)において a を選択した場合のみ回答願います】

1回の説明会に()人の保護者が出席している。

(4) 保護者向け就職説明会について意見等があれば自由に記述してください

[回 答 欄]

4 今後の就職・採用活動について、意見等があれば自由に記述してください (例)

- ① 企業側、大学側の対応について
- ② インターネットによる就職・採用活動について
- ③ 学生からの要望・意見等について
- ④ 学生の職業意識について
- ⑤ 大学における人材育成について
- ⑥ 大学院生(修士・博士)の就職・採用活動について
- ⑦ 特に、保育士や栄養士など専門職の雇用形態の変化について
- ⑧ 有期雇用として就職する学生について
- ⑨ 採用情報の公開や採用選考の開始など、採用スケジュールについて
- ⑩ ニート・フリーター問題について
- ⑪ エントリーシートの早期配布における影響について
- ⑫ 秋入学について など